

議会だより

平成18年9月1日

発行 永平寺町議会

編集 議会だより特別委員会

● 6月定例議会

● 8月臨時議会



こがね輝く みのりの秋

もくじ

- 2 議長・副議長挨拶・議会構成
- 3～4 6月定例議会より
- 4～7 予算案審議
- 8 一般質問
- 8 編集後記

議会構成決まる
平成18年8月
臨時議会

新たな町議会 始動!

— 議長・副議長就任ごあいさつ —



議長
上田 誠

初秋の頃となりましたが、町民の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
地方分権や三位一体の改革が進められる中で、今回の合併は町民にとって大きな変革であり、新町に対して期待と不安とともに重大な関心事であります。

また、今日ほど地方自治体の役割や機能の変革が要求されており、地方議会の果たす役割も一層その重要性が増し、充実と活性化が求められております。議会は招集権も予算編成権もないといった制度的にも弱い立場にありますが、政策の決定と監視の役割は行政に対する町民の最大のチェック機能であります。

町民に開かれた議会、町民が関心を寄せてくれる議会を目指して、積極的に情報を提供し住民参画(住民の意向が反映され、納得する決定が行われる)を促して「議会は住民のもの」と認識していただけるよう議会改革に取り組むことが急務と考えます。

もとより浅学非才でございますが、議員各位のご理解とご協力を得ながら、町民を主導とした議会運営に努めていきたいと考えております。
町民の皆様がこれまで以上に議会に目を向けていただきますようご支援をお願い申し上げます、ご挨拶いたします。



副議長
齊藤 則男

この度の臨時議会におきまして、副議長に選任され、身に余る光栄でもあり、責任の重大さを痛感いたしております。
まちづくりは「住民」「議会」「行政」のハーモニーが大切であると考えております。住民みなさんの代表として新生「永平寺町」を皆さんと共に築き歩んでいきたいと思っております。
そして、若い世代の方たちが自分たちの住んでいる街に興味を持ち、考え、行動や主張することが、世代を超えた理解・調和へと結びつくこととなります。

私は、柔軟な思考で新しい分野を開拓し、新しい町づくりの原動力になっていきたいと思っております。

永平寺町民で良かったと思えるような素晴らしい街づくりに向けて「一生懸命」努力し、ご期待に沿うようがんばります。

これからも、皆さまの忌憚ないご意見、またはご指導ご鞭撻をいただけますよう、よろしくお願致します。

議会構成

議長 上田 誠

副議長 齊藤 則男

常任委員会

総務常任委員会

- 渡辺 善春 河合 永充
- 伊藤 博夫 渡辺 勇
- 小畑 伝 滝波登喜男
- 上田 誠

教育民生常任委員会

- 金元 直栄 酒井 要
- 小玉 益雄 松川 正樹
- 原田 武紀 上坂 久則
- 竹澤 一敏

産業建設常任委員会

- 南保 秀樹 宮塚 幹雄
- 長谷川 茂雄 齊藤 則男
- 坂本伊三栄 松倉 寛治

議会運営委員会

- 齊藤 則男 渡辺 善春
- 宮塚 幹雄 金元 直栄
- 酒井 要 河合 永充
- 南保 秀樹

議会だより特別委員会

- 小畑 伝 河合 永充
- 松川 正樹 原田 武紀
- 金元 直栄 齊藤 則男
- 滝波登喜男 坂本伊三栄
- 上田 誠

組合議会

五領川公共下水道事務組合

- 小玉 益雄
- 渡辺 善春
- 滝波登喜男
- 河合 永充

福井坂井地区広域市町村圏事務組合

- 伊藤 博夫
- 齊藤 則男
- 小畑 伝
- 酒井 要
- 竹澤 一敏
- 上田 誠

この国

広域事務組合

- 宮塚 幹雄
- 渡辺 勇
- 上坂 久則
- 坂本伊三栄
- 上田 誠

勝山・上志比

衛生管理組合

- 長谷川 茂雄
- 齊藤 則男
- 南保 秀樹

委員長 副委員長

平成18年
第3回

6月定例議会報告

平成18年第3回定例会は、6月8日から21日までの14日間、開催されました。
審議された内容は、次の通りです。

報告	1件	専決処分	6件
決算認定	5件	補正予算	7件
条例の改正	6件	規約の変更	2件
町道の認定	1件	諮問	1件

今回の6月補正予算は、新町長による具体的な肉付け予算として政策的な経費が盛り込まれた7件の予算案が提案され可決、いよいよ平成18年度が本格的にスタートします。

この他、平成17年度の旧町村単位の一般会計及び特別会計並びに平成17年度松岡町上水道会計・平成17年度吉田地区消防組合一般会計の決算が認定され、新永平寺町における人権擁護委員を1名推薦いたしました。

平成18年度補正予算の主なもの

(単位:千円)

総務費	わがまち夢プラン育成、支援	2,000	農林費	青少年旅行村等整備事業	2,774
	谷口コミュニティセンター補助金	13,400		ふるさと味探検フェア	600
	地域防災計画書策定業務	2,993		村落広域営農支援事業	4,528
	防災無線再設置工事	2,450		新規就農機械等リース事業補助	3,412
	備蓄倉庫	1,559		圃場整備(吉野総合開発)	33,000
	「(仮称)永平寺町景観協議会」の設立	300		町単土地改良	28,200
	新永平寺町誕生記念特別展	1,000		県単土地改良	17,000
	総合振興計画策定業務	5,862		県営圃場整備事業負担金	24,813
	固定資産税評点検証業務委託	3,404		県単林道工事	42,668
民生費	児童手当小学校修了まで支給	37,490	町単林道工事	15,500	
	障害者計画、障害者福祉計画の策定	4,440	県単治山事業	3,300	
	幼稚園10箇所の修繕料工事費・備品等	16,778	その他林業振興経費等	5,262	
	永平寺児童館設立(児童館厚生員補助員の増)	1,332	商工費	イベント実行委員会補助金の増	3,500
	志比児童クラブの設立	1,011		福井の伝統的民家普及促進事業	3,000
	若者出会い交流応援事業	620		観光ボランティアガイド「語り部」育成事業	600
	3人子出産応援事業	1,596		地域ブランド創造活動推進事業	7,000
	産休代替保育士賃金増	1,275	永平寺町商工会運営補助増	1,040	
	男女共同参画社会の実現	1,202	土木費	町内一円道路維持補修工事	11,050
教育費	管内体育施設の整備	4,804		町内一円雪害補修工事	10,000
	吉野小学校耐震補強工事	7,274		除雪車購入費	16,718
	耐震診断調査業務委託料(志比小学校・志比南小学校・志比北小学校)	19,131		町内一円道路新設改良	56,350
	小中学校10校の工事費・備品等	56,270		納戸坂線道路改良工事	69,009
	緊急連絡用携帯メール配信システム	226		中部縦貫自動車道関連公共工事	23,659
	防犯カメラ、電気錠取り付け工事(小・7・中・2・幼稚園・12)	10,383		医科大南通線道路改良工事	38,173
	防犯グッズの整備(小・中・幼)	428	106号線道路改良工事	15,350	
	文化芸術振興事業	5,000	雑費	議場等改修工事(委託料含む)	18,885
	九頭竜マラソン助成金等	2,350			
古墳群整備事業、保存管理計画策定事業	3,200				
女性ネットワーク助成金	230				
人権意識の普及高揚事業	134				
図書館の新システム整備	26,181				
消防費	災害救助用エアートント	7,000			
	集落消防設備整備補助金	569			
衛生費	環境基本計画の策定	3,848			
	わがまち「魅力」発見写真コンクール	227			
	環境エネルギー教育支援事業	773			



九頭竜川の鮎

予算特別委員会報告

委員長 上田 誠

6月定例議会における補正予算は、新町が誕生して初めての肉付け予算であり、種々の施策に対して予算が計上されていることから基本的な考え方、内容について活発な質疑が出されました。

特に、新町の方向を定める「総合振興計画」や各種計画については策定のプロセス、内容について議会に提示、相談をして、議会の承認のもとに進める確約を町長から得て、採決を行うことができたことを評価するとともに、町民の皆様にお示しすることが出来ると思います。

平成18年度6月補正予算

単位:千円

	補正額	補正後予算	
一般会計	758,066	8,180,248	
特別会計	202,004	6,441,001	
	国民健康保険事業	0	1,475,701
	老人保健事業	28,150	2,422,362
	介護保険	1,018	1,271,206
	簡易水道事業	27,086	197,722
	下水道事業	26,061	742,881
	農業集落排水事業	8,485	211,777
	土地開発事業	111,204	119,352
企業会計	上水道事業	155,981	391,988
合計	1,116,051	15,013,237	



九頭竜川での鮎釣り

予算案審議

十八年度一般会計補正予算

議会・総務・企画

問 弁護士費用八百万円が計上されているが、内容と今まで払った費用は。

答 裁判にかかる費用で、八百万円は控訴審における成功報酬です。また、今までの費用は、第一審の弁護士費用百七十万円、二審の着手金五十二万円、控訴審の手数料等で二十三万円余りです。また、第一審の敗訴を受けて、福井地方事務局へ三千万円供託していましたが、勝訴確定により、現在この供託金を戻し入れる手続きを進めています。

問 当初予算は骨格予算ということですが、対前年比十%減であったが、今回の肉付け予算で三%の減となっているのか。特に基金繰入金四億一千六百万円、町債五億九千六百万円は、合併前の財政シミュレーションの数値よりかなり大きくなっているが。

答 十七年度の決算では、財政調整基金を約九億円まで戻しています。



建設中の谷口区コミュニティセンター

また、財政シミュレーションは決算ベースでつくっていますので、単純に今回の予算と比較はできません。それから、町債のうち四億円は臨時財政対策費で後から交付税で戻ってきます。事業債は一億七千万円程度です。なお、合併特例債は今のところ予算化していません。

問 谷口地区コミュニティセンターの補助金額の算定基礎は。

答 同補助金は、地区の方の働きかけにより宝くじの助成金をいただくことになりました。総事業費四千二百三十七万円のうち、火災保険で二千万円、残額の五分の三が宝くじ助成金で一千三百四十万円、残りは地元負担です。

問 合併前の財政シミュレーション

(5) 永平寺町議会だより

と、今回の合併初年度の予算を實際立てられて、想定外な点はあったのか。

答 県、国からの合併補助金が当初三年間で三億円ということだったが、十年間で三億円というふうに変まりました。同じように交付税や特別交付税も変わる可能性があります。このことにより、基金の取り崩しをしなければならぬと予想されます。

問 総合振興計画策定業務委託料の四百万円は、非常に高額である。業者任せにせずに、職員の創意工夫で十分できるのではないか。また、町長の所信にあったように、住民の参画が得られることも必要だし、大学との連携も行う必要がある。我々の住んでいる町のマスタープランを作るわけですから、独自性を持った温かみのあるプランを作っていたいただきたい。

答 新町が発出したので、十八年度中に作りたいとの思いで民間委託を利用していきたくと考えました。また審議会の中には、議会代表、住民代表、大学関係者に入っていたいただき、ご意見をお聞きする形で考えていましたが、ただ今のご指摘を受け、時間をかけ住民を巻き込んだ計画づくりを今後検討してまいります。

問 わが町夢プラン事業の選考方法や規定の整備は。

答 町内会や振興会などの団体等が



改修中の議場

いろいろな取り組みを計画し実践していただくことに対し、費用の二分の一、十万円を限度に助成していくもので、現在規定を整備しています。

問 議場の改修工事費約一千八百万円の必要性は。

答 旧松岡町の議場は、議員の机は二十名分ありますが、行政側の出席者が二十六名になり七名分不足となります。また、音響設備等が限界にきていますので、この際更新するものです。

民生・衛生

問 障害者基本計画策定委託料の四百四十四万円は。

答 障害者計画、障害者福祉計画の四百四十四万円は百%補助金対応。

問 ①やすらぎの郷の管理が社会福祉協議会から町に変わった理由は。②永平寺の老人センター、翠荘とCAMU湯の賃金の違いの理由は。

答 ①社会福祉協議会に委託していた人材の確保が困難になった理由による。②松岡は週一回三時間清掃のために来てもらっているので八百九十円。CAMU湯は管理の勤務中に毎日同じ人でもらうので七百元としているので理解してほしい。

問 ①乳幼児医療費の無料化のやり方は。②介護予防での具体的な内容は。③幼児園の防犯カメラの内容は。④合併浄化槽の内容は。⑤環境基本計画の委託はどういう形のを予定しているのか。

答 ①現在は償還払いであり、窓口



CAMU湯(上志比地区)



なかよし 幼児園児

無料化の方法は医療機関、国保連合会等と調整を進めてゆく。②食生活改善として年六十二回の健康料理講習会を予定。筋トレについては週四回で行っている。③インターホン方式の防犯カメラ設備を計画。④上志比清水地区、二十人槽一基の計画。⑤「自然環境と共生できるまち」を目指し、総合振興計画との整合性を考慮してゆく。

問 ①町の総合振興計画と環境基本計画と二緒にできないのか。②永平寺地区の児童館の開設の整備は十分なのか。③少子化対策の面から考えると一人目、二人目からの対応も必要でないか。

答 ①総合振興計画は十年間の基本計画であり、環境基本計画は具体性の計画を盛り込む。②意見を十分生かし

ていきたい。③その方が分がいいが検討課題にしていく。

問 ①男女共同参画予算は、年間を通して活動するものを対象としたら。②老人クラブ補助金がカットされていないが、何か事業があるのか。③環境写真コンクールとわがまち魅力写真コンクールの違いは。

答 ①推進大会に三十五万。公民館講座に二十一万。②上志比地区の老人会の計上分。③わがまち「魅力発見」写真コンクールで実施。

問 ①障害者基本計画の内容は。②若者出会い交流の成果は。

答 ①障害者自立支援法に伴い計画書の策定が必要なので。②手元に資料を持っていないので確認します。

労働・農林・商工・土木

問 新規就農者機械リース事業補助金の内容は。

答 県の園芸認定就農資格を得て、トラクター一台とパイプハウス二棟を事業費の三分の一は県補助金、三分の一を町が、残り三分の一を本人負担で、菊やトマトの栽培を行うものです。

問 県単土地改良事業の箇所はどこか。
答 吉野塚の農道新設、鳴鹿と吉波



上志比夏まつり

の用水路の整備、上浄法寺の農道舗装、牧福島の用水路改良、浅見の排水路改良等です。

問 商工費の地域ブランド創造活動推進事業補助金の事業内容は。

答 本町の観光物産協会が、県補助対象の認定を受けて、今年から三年間、永平寺の観光客を増やすため、種々のソフト事業を行うものです。中身はバスツアー等、観光コースの開発、観光物産の開発、九頭竜川の鮎やなの検討等です。

また、花祭り、廃線跡地ウォーキング、大仏山から吉峰寺への祖跡コース登山、大みそかの除夜の鐘、冬のライトアップと燈籠まつり、本山の茶屋席の開設等の事業も盛り込まれています。

県の補助が二分の一の九百四十万円、物産協会の自己負担金が約二百五十八万円、残りの七百万円が町補助分です。

問 中部縦貫自動車道関連公共施設等整備工事とは。

答 中部縦貫道整備に協力いただいた地区周辺地域の生活環境の向上に基づくもので、町道寺本一号線の舗装工事、町道轟二号線のガードレール整備工事、諏訪間地係の排水路新設工事の三箇所です。

問 医科大南通線道路改良工事の事業内容は。

答 医科大と元Aコープの交差点改良に伴う整備事業です。歩道整備も含めての国庫補助事業で、県道整備は、県が行いますが、一部付帯する町道分については、用地買収費五百二十一万円も含めて町負担となります。

問 商工費のイベント実行委員会補助金増三百五十万円ですが、当初予算の千五百七十五万円も高額であるのに何故増額したのか。

答 各実行委員会からの予算要求はもつと高額でしたが、査定の中でこの金額を決定しました。九頭竜フェスティバルは、大部分が町補助ですが、燈籠ながしや上志比夏祭りは協賛金等も集めています。

また、燈籠ながしでは燈籠代の値上

げ、棧敷席の増設等で収入面の努力もしています。

それ等を勘案しての増額決定ですので御理解の程を。

問 イベント開催については、今年からは従来通り旧三町村の三つとも行うが、今後については見直し検討となっている。どうするのか。

答 今年のイベントが全部終了した時点から、三ヶ月の間に来年の方向を決定したいと考えています。

問 福井の伝統的民家普及促進事業補助金とは。

答 伝統的民家を保存し、地域づくり、景観づくりを行う市町村を支援する県事業で、県の調査で対象に上がっているのは、たとえば田辺酒造とか、清水家住宅、黒龍酒造を含めた春日の



えいへいじ大燈籠ながし

(7) 永平寺町議会だより

町家、町並み、薬師の町家等です。県では、その家屋等の指定を検討する伝統的民家保存活用推進員五十名を八月三十一日までの期限で募集しています。

教育

問 児童の安全対策で、学校の緊急メール配信や、監視カメラの設置が示されているが、メール配信を民間委託とはどういうことか。

答 メールアドレスを登録した父母に対し、不審者情報などが発生した場合、教育委員会より委託会社に連絡して、配信するというものです。

問 図書館システム購入、二千百万円というが、新システムとはどういうものか。

答 図書館のシステムは統一されていず、旧町村のパソコン能力も限界のため、合併を機に統一化し、再構築するもので、蔵書や運営システムを入れるサーバー等も含まれます。

問 今回、学校の改修が多く示されているが、学校に洋式トイレを増やすなど生活実態に合ったものにしてもらいたい。

答 学校のトイレの問題は、我々も聞いており、校舎が老朽化したり、洋式トイレのない学校もあることから、

計画的に改修を考えています。

問 学校へのAED(除細動器)配備計画はどのように考えているのか。

答 来年度で各学校への配備を検討中です。

問 文化芸術振興事業委託料五百万円の内容は。

答 詳細は決まっていますが、幼児や児童を対象とした映画会や人形劇、青少年や一般を対象とした演芸や講演会、コンサート等を実施する予定です。

問 文化財保護の委託と、調査場所や内容は。

答 国指定を受けた二本松山古墳等の測量、周辺の植物のデータ調査で、本年度中に大まかな保存計画策定の予定です。



町立図書館

問 福井型コミュニティスクール推進事業の今後の計画はどのようなになっているのか。

答 昨年は吉野小と永平寺中で実施しています。県はすべての学校で取り組む方向なので、新たな学校で予定しています。

問 九頭竜フルマラソン事業で示されている、公認コース更新は何年ごとか。また、参加者数と、参道マラソンとの関係はどうなるのか。

答 日本陸連の公認コース更新は、五年毎で、フルマラソンには例年全国から約八百人の参加があります。

参道マラソンは、町体協や永平寺地区体育振興会の開催にかかる人員の確保等から、人口二万人の町で複数の開催は難しく、北陸でも唯一のフルマラソンを開催するという結論となっています。

問 越の国の里づくりの会助成金と、そのイベント開催の事業主体名と、町職員のかかり方はどうなるのか。

答 越の国の里づくりの会が事業主体で、職員は五〜六名が協力しています。今回は、合併記念として、より充実した事業へと増額しました。

問 四季の森の保険料一〜六万円の計上と、保険の内容は。

答 木造のため、この金額となっています。

おり、火災時の補償は十億円です。

問 ふるさと学習館のあり方について、予算の付け方等が他の公民館とは扱いが異なっている。おかしくはないのか、その理由は。

答 公民館は小学校区単位に設けられ、今年度から学習館は活動の拠点ではなく、松岡公民館がいつぱいの時、学習館で活動するとの位置づけとなっています。

問 各種団体に対する補助金は、一律5%カットもしいが、補助金の使い方や決算報告を求め、チェックすべきではないのか。

答 各種団体のそれぞれの事情もあることから、それらも考えていきます。

問 上志比中学校では、生徒のために数年前から海外研修をやってきたが、今年度は予算化されていない。中学生がかわいそうだ。やってきた上志比をどうするのか。

答 生徒の海外研修は、合併協議のすり合わせの中でやっているところや、やっていない町もあり、今後、新町において検討するとして予算には計上してありません。今後の課題にさせていただきます。

特別会計補正予算は誌面の都合上、割愛させていただきます。

6月 定例会 議会	質 問 項 目	質問議員
一 般 質 問 第三回定例会において、十六名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。今回は各議員の質問項目のみ掲載いたします。	永平寺口駅周辺整備計画に関して 大本山永平寺門前景観造り並びに廃線後の永平寺駅整備に関して	田中 敬二
	コミニティーバス、福祉バスの一本化について CAMU湯での利用者からの不満の声について 町内公共施設(永平寺地区ゲートボール場)のトイレ設置の必要性について	酒井 要
	財源確保のための税徴収対策について 財産差し押さえについて	伊藤 博夫
	県道中川線五松橋周辺整備について 町営住宅跡地利用についてと芝原用水パイプラインの上部利用について	渡辺 善春
	自主防災組織づくりは何故進まないのか	原田 武紀
	高齢者の外出時の緊急連絡用携帯発信器について 通学路(学童)の融雪について 旧松岡町内の町営住宅跡地の有効利用について	小玉 益雄
	宅地造成工事の進捗は(栗住波地区) せせらぎ地区から新字名に関わる請願が出されている字変更について	鈴木 幹雄
	旧松岡町の指名競争入札について 随意契約について 工事検査について CAMU湯について	反保 明
	町長の所信表明への感想と、幾つかの視点で ハコ物からの脱却を 少子化対策、行政はもう一歩前進を 職員の資質向上と課題の共有化へ	金元 直栄
	町長は本当に住民の声・現場の声を聴いているか 学校教育における諸問題	松川 正樹
	「自治基本条例」の制定について	伊井 正行
	「住民参画システムの確立」について 出生率過去最低1.25を受けて 行財政改革について	滝波登喜男
	地域エゴを排除して、町づくりをめざせるかが試金石 ありきたりな、少子化対策でいいのか 宅地造成、理想との現実とのギャップの格差をどううめるのか 観光客増対策は町の活力源	清水 源栄
	地方分権社会の新しい町づくりについて 男女共同参画推進について CATV事業について	上田 誠
	「わがまち夢プラン育成・支援事業」について 男女共同参画社会実現について 生徒の夏休みラジオ体操について 町立中学校の統合について	長谷川茂雄 坂井 昭雄

議会の情報を永平寺町のホームページで見ることができます。
アドレスは
<http://www.town.eiheiji.lg.jp/>
(永平寺町役場)
(住民サービス) ↓ (行政情報議会) ↓
(議会からのお知らせ)

**集
記**
**編
後**

カラ梅雨かと思
つた空模様も新永
平寺町、最初の議
会議員選挙が始ま
ったトタンに、大
雨となり、町民の熱い気持ち
が降
らせた雨により、身も心もきれ
いに洗い直した新しい議員二十
名が
誕生しました。

これからの四年間、適正な町政
運営をはかる為に議会に与えら
れた権限をフルに生かし、この
厳しい行財政改革を乗り切る所
存です。
そのためには町民の皆様の益々
のご支援、ご協力が必要であり、「議
会だより」も開かれた、分かりや
すい議会とともに歩んでいきたく
と思います。(小畑 記)

議会だより編集委員

委員 長	小畑 河
副委員 長	松川 正
委員	原田 武
委員	金元 直
委員	滝波 登
委員	上坂 清
委員	田本 波
委員	伊登 直
委員	三喜 男
委員	誠 栄
委員	永 充
委員	樹 伝